

## 【実践報告】

「新任係長としてコロナ禍での  
人材育成を振り返る  
～次につなげる保健師活動～」

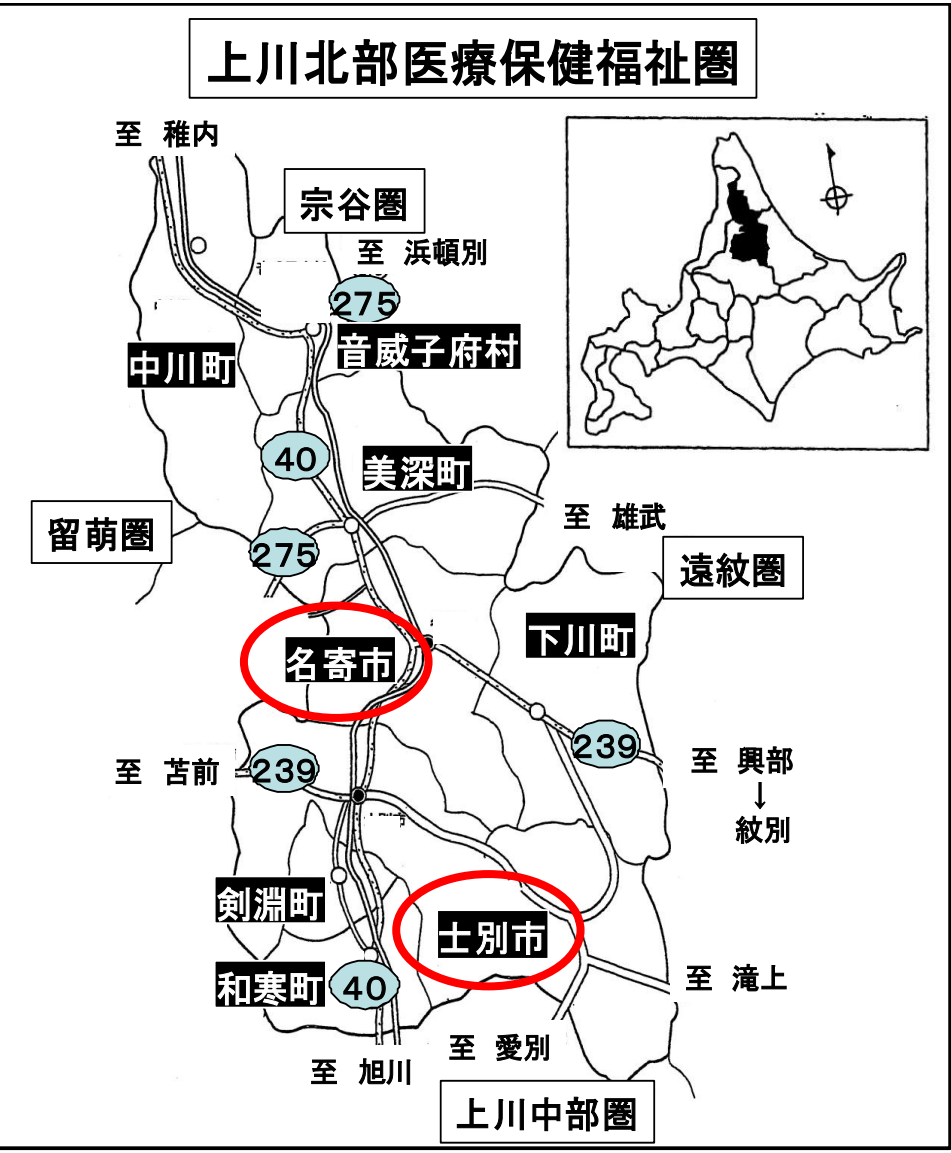
令和5年10月28日(土) 14:05～14:25

北海道上川総合振興局保健環境部名寄地域保健室  
(名寄保健所) 健康推進課 健康支援係長 千田ちさと

# 本日の内容

- 1 管内概況等  
コロナ対応の全体像（所内体制、特徴等）  
保健師現任教育体制
- 2 施設対応から平常時対策へつなげた取組
- 3 まとめ

# 名寄保健所管内（上川北部）の概況



## 【地理】

- ・ 上川総合振興局の最北部管内8市町村
- ・ 東西 55km、南北 140km

## 【人口】R4.1.1現在

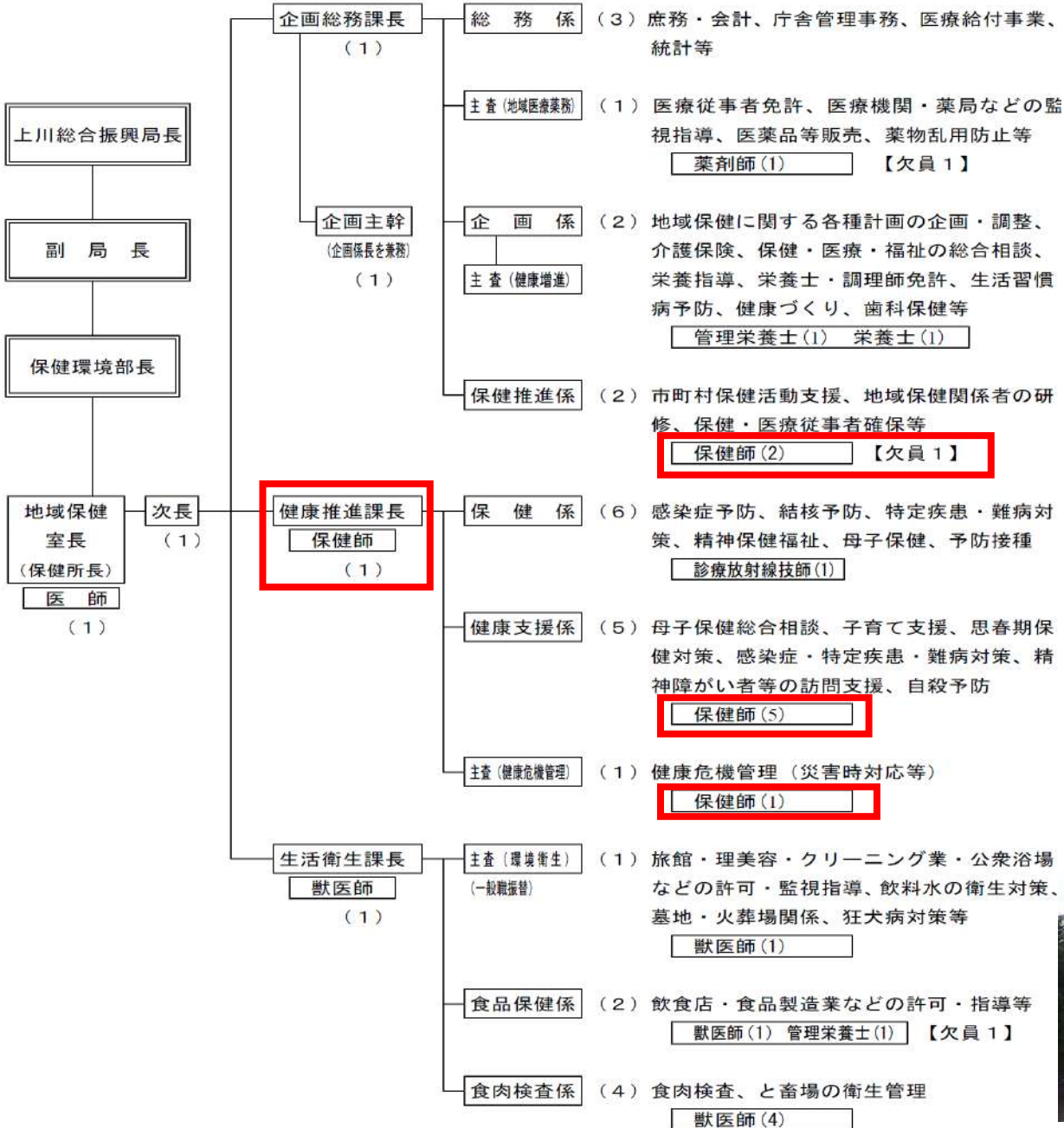
- ・ 59,323人
- ・ 高齢化率は管内全市町村で30%超え

## 【医療機関数】R5.4.1現在

- ・ 病院7カ所 総病床数916床
- ・ 一般診療所38カ所  
(有床3・無床35)

【引用】北海道医療計画 上川北部地域推進方針(平成30年度～平成35年度)

# 名寄保健所の職員配置



職員定数 36名  
現員 33名

保健師数 9名



# コロナ対応の全体像

## 【医療状況】

- ・当初は「士別市立病院」と「名寄市立総合病院」が発熱外来を開設。入院患者も受け入れ。
- ・感染管理認定看護師（ICN）が保健所との窓口。  
（コロナ前からの“人が変わっても顔の見える関係”が生かされた！）

### →（保健所）

- ・医療機関向け「コロナ対策会議」をWEBで実施。
- ・2医療機関から、発熱外来や入院患者の状況、最近のコロナ患者の特徴や治療方法等をご報告いただき、管内全体で広く患者の受け入れ協力を呼びかけた。

## 【コロナ対策で見た地域の特性】

- ・〇〇〇の町。
- ・スポーツ合宿の受け入れ。集団が中長期的に滞在。
- ・管外（旭川市内）へ通学する高校生。寮生活の子も。

# I C Nとの連携（専門家派遣事業）

R 3 年 1 2 月～R 5 年 5 月現在

■派遣回数：計 2 5 回（内訳：士別地域 1 4、名寄地域 1 1）

■派遣先：実 2 2 / 延 2 5

（病院 5、高齢者施設 1 5、障がい者施設 2）

## 【I C Nとの振り返りから（抜粋）】

- ・ I C Nが地域に目を向け、保健所保健師と「看護の視点」が共有できていた。
- ・ 病院と保健所で「地域の感染状況」「病院の状況（外来・入院・対策）」等の情報をこまめに共有し、病院が「地域で起きていること」を保健所と一緒に考えてくださった。

※「新型コロナウイルス感染症集団感染対策に係る実践報告会 第2回」（2023年2月15日）での実践報告に向けた振り返りにて

# コロナ所内体制 (R2年7月～全所体制)

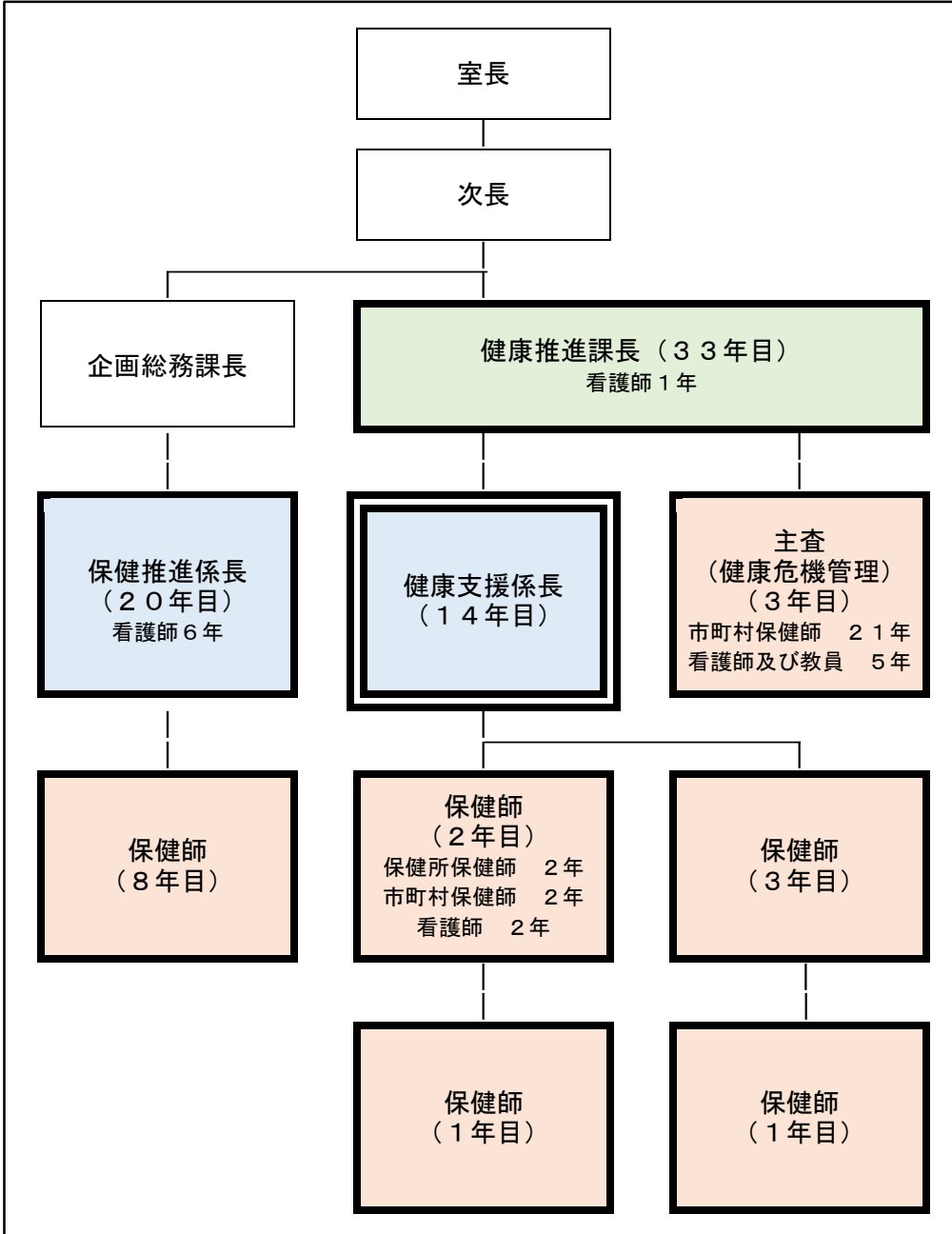
## 名寄保健所における新型コロナウイルス感染症対策における担当案 (R3.4以降)

対策本部		北海道名寄保健所		令和3年4月8日現在	
本部長	保健所長	斎藤所長	(GL)リーダー		
副本部長	次長	丸山次長	(SL)サブリーダー		
班・担当業務		現行		変更後	
		職種	課長職	職種	課長職
<b>○総括班 (全体の体制整備)</b>		<b>事務 (GL)企画総務課 馬淵課長</b>	<b>栄養 (GL)企画総務課 渡邊課長 (0.5)</b>		
会議等の設定 (本会議、Web会議等)	事務 (SL) 総務係 小林係長 (0.5)	事務 (SL) 総務係 小林係長 (0.5)			
応援体制整備	薬 主査 山崎主査 (0.5)	薬 主査 山崎主査 (0.5)			
関係機関との連絡・調整	薬 主査付 川合専門員 (0.5)	薬 主査付 川合専門員 (0.5)			
各種委託契約・物品購入等事務	事務 総務係 南原主事	事務 総務係 南原主事			
対策本部の設置	事務 保健係 鈴木主事(0.5)	事務 保健係 鈴木主事(0.5)			
感染関連情報 (公表)	事務 保健係 島主事(0.3)	事務 保健係 島主事(0.3)			
把握・報告する情報整理					
通知・マニュアル管理					
所内の調整					
所内の衛生管理					
システム関係 (Her-sys,G-MIS等)					
<b>○相談対応班</b>	保 (GL)保健推進係 土田係長 (0.5)	保 (GL)保健推進係 土田係長			
健康相談対応	保 (SL)保健推進係 千田主任保健師 (0.5)	栄養 (SL)企画係 藤島主査(0.5)			
受診調整	保 健康支援係 松田主任保健師 (0.5)	保 保健推進係 氣仙保健師 (0.5)			
医療機関毎の調整窓口・受診方法の整理	保 健康支援係 氣仙保健師 (0.5)	保 健康支援係 黒澤保健師 (0.5)			
帰国者・接触者外来への受診調整	栄養 企画係 宮武管理栄養士(0.5)	保 健康支援係 野原保健師 (0.5)			
<b>○検査・入院調整班</b>	獣 (GL)生活衛生課 笠松課長	獣 (GL)生活衛生課 笠松課長			
PCR検査の実施	事務 (SL) 企画総務課 渡邊企画主幹	事務 (SL) 企画総務課 神田企画主幹			
検査実施体制の整備	事務 保健係 小林係長 (0.7)	事務 保健係 小林係長 (0.7)			
検体の搬送	保 健康支援係 佐々木係長 (0.3)	保 健康支援係 千田係長 (0.3)			
検査結果の管理・報告・入力体制	獣 主査 工藤主査	獣 主査 工藤主査			
検体梱包や搬送等の研修	獣 食品保健係 安田係長	獣 食品保健係 安田係長			
必要な物品・車の確保	事務 保健係 杉野専門主任(0.7)	事務 保健係 杉野専門主任(0.7)			
搬送車両の消毒	事務 保健係 島主事 (0.7)	事務 保健係 島主事 (0.7)			
患者の入院調整	事務 保健係 鈴木主事(0.5)	事務 保健係 鈴木主事(0.5)			
宿泊療養施設の入所調整	放 保健係 中山医療検査専門員	放 保健係 中山医療検査専門員			
患者移送調整	保 健康支援係 氣仙保健師 (0.5)	保 保健推進係 氣仙保健師 (0.5)			
消防機関との連携	事務 総務課 高橋主事(0.3)	事務 総務課 高橋主事(0.3)			
応援職員の事前研修	栄養 企画係 宮武管理栄養士(0.2)	栄養 企画係 藤島主査(0.2)			
入院勧告・就業制限等事務	栄養 食品保健係 簡洲管理栄養士(0.7)	栄養 食品保健係 簡洲管理栄養士(0.7)			
	薬 主査付 川合専門員 (0.2)	薬 主査付 川合専門員 (0.2)			
<b>○疫学班 (積極的疫学調査・健康管理)</b>	保 (GL)健康推進課 菅井課長	保 (GL)健康推進課 菅井課長			
感染経路の疫学調査に関すること	保 (SL)健康支援係 佐々木係長 (0.7)	保 (SL)健康支援係 千田係長 (0.7)			
濃厚接触者の特定、PCR検査の実施	保 保健推進係 土田係長 (0.5)	保 主査 松田主査			
陽性患者・濃厚接触者の健康観察	保 保健推進係 千田主任保健師 (0.5)	保 健康支援係 伊藤保健師			
医療機関・福祉施設対応	保 健康支援係 松田主任保健師 (0.5)	保 健康支援係 室矢保健師			
検査等に関する衛生物品の管理	保 健康支援係 白塚保健師	保 健康支援係 黒澤保健師 (0.5)			
* 必要時、患者移送時間短縮する	保 健康支援係 伊藤保健師	保 健康支援係 野原保健師 (0.5)			
	保 健康支援係 室矢保健師	栄養 企画係 藤島主査(0.3)			
	栄養 企画係 宮武管理栄養士(0.3)	栄養 食品保健係 簡洲管理栄養士(0.3)			
	栄養 食品保健係 簡洲管理栄養士(0.3)				
<b>○ワクチン接種班</b>	事務 (GL) 総務係 小林係長 (0.5)	栄養 (GL)企画総務課 渡邊課長 (0.5)			
各種通知への対応	薬 (SL)主査 山崎主査 (0.5)	事務 (SL)総務係 小林係長 (0.5)			
市町村の体制整備に係る調整	事務 保健係 小林係長 (0.3)	薬 主査 山崎主査 (0.5)			
医療機関従事者の接種体制整備	事務 保健係 杉野専門主任 (0.3)	事務 保健係 小林係長 (0.3)			
負担金・補助金	事務 総務課 高橋主事(0.7)	事務 保健係 杉野専門主任 (0.3)			
各種調査	薬 主査付 川合専門員 (0.3)	事務 総務課 高橋主事(0.5)			
予防接種事故		薬 主査付 川合専門員 (0.3)			
システム関係 (V-SYS)		栄養 食品保健係 簡洲管理栄養士(0.3)			
		事務 総務係 南原主事 (0.3)			
		事務 保健係 島主事 (0.3)			

R3年4月8日現在

- 総括班 (全体の体制整備)
- 相談対応班
- 検査・入院調整班
- 疫学班 (積極的疫学調査・健康管理)
- ワクチン接種班

# 名寄保健所の保健師体制（R3年度）



■ R3年度

○ 所内異動

- ① 保健推進係スタッフ【私】  
→ 健康支援係長
- ② 健康支援係スタッフ  
→ 保健推進係スタッフ

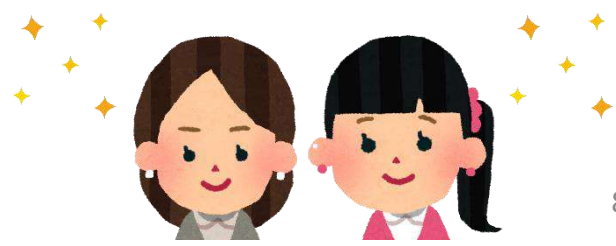
○ 課長と両係長以外の保健師6名は名寄保健所が初任地

※ 2名は看護職としての職歴あり

○ (コロナ禍だからこそ)

「1年目の保健師2名を大切に育てたい！」

→ 所内保健師全員で共有できていた！





# “2人を大切に育てるために”

私が意識的に取り組んだこと（R3年度）

## 【コロナ対策】

「自分もチームの一員として活動できている！」という実感を持ってもらえるように

## 【それ以外】

保健所保健師の活動を実際に見て「楽しい、面白い、やってみたい！」と思ってもらえるように

具体的には…

- 話しやすく、明るい雰囲気づくり
- 1年目保健師のスケジュール管理
- 1年目保健師が対象者に会う機会、外に出る機会の確保
- 定例事例検討会の開催

## ◎コロナ業務を通常業務につなげること

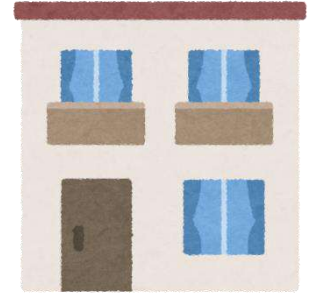
→振り返ると“所内保健師が皆で育ち合うため”の取組になっていた！

# 初めての施設対応！【R3年6月～（第4波）】

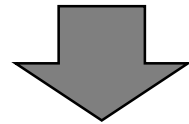
## ■障がい者施設

グループホーム複数棟

約80%が同じ通所施設を利用



- |      |       |                                  |
|------|-------|----------------------------------|
| 1 例目 | 40代女性 | グループホームA入居者<br>日中は通所施設（就労支援B型）利用 |
| 2 例目 | 50代女性 | グループホームA世話人                      |
| 3 例目 | 40代女性 | グループホームA入居者                      |
| 4 例目 | 70代男性 | グループホームA世話人の家族                   |



濃厚接触者が約20名  
グループホーム9割が濃厚接触者に対応  
（施設としては想定外！）

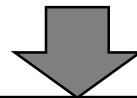


# 寄り添いながらの対応

2年目保健師  
(職歴8年目)  
がんばりました!



- 日々の困り事は、タイムリーに対応。  
→その都度、口頭で情報共有
- 管理者から事業再開後の体制整備について「覚え書きを作成したので、見てほしい」相談あり。  
→保健師全員で確認・修正、完成!
- 施設側から「次の発生に備えて施設内ゾーニングについて相談したい」と相談あり。  
→力になりたい! 専門家派遣事業って使えるのかな?  
私たちもゾーニングについて学びたい!



名寄市立総合病院 I C N を講師に  
「法人 A の管理者向けクラスター研修」を開催!  
(令和 3 年 7 月)

# 施設対応から平常時対策へ①

## ○管理者向けクラスター対策研修（年1回）

- ・内容は講義＋施設内のラウンド。参加者9名。
- ・保健所保健師4名参加（1年目保健師2名を含む）。  
実際に施設内をラウンドすることでゾーニングの考え方や施設でできる感染対策について学びを深めた。
- ・ 1年目保健師はICNと初めて会う機会となった。

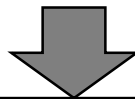
→ ICNって、さすが感染管理の専門家！

困った時、私たちもICNの力を借りよう！

こんな貴重な人材が地域にいることを支援関係者に知って

もらって、つなげる機会が作れたらいいなあ…

この施設の取組を他の施設にも参考にしてもらいたい！



士別市立病院と名寄市立総合病院 ICNを講師に  
障がい者施設の課長を報告者に  
「感染症予防講習会」を開催！（令和3年10月）

## 施設対応から平常時対策へ②

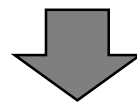
### ○感染症予防講習会（年2回）

- ・ 2つの地域に分け（士別地域・名寄地域）ハイブリッドで実施。内容は講義＋実践報告。参加者は合計47名。

→地域の支援関係者にICNを紹介できた！

実践報告ではクラスター対応を身近に感じてもらうことができ、アンケートでは労いの言葉が多くあり、報告者にとっても「良い振り返りの機会となった」との感想が。私たちも最新の知識を得られる学習の機会になった！

「定期的にこういった学習の場があったらいいなあ…」  
そうだ、ICNに相談してみよう！



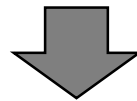
名寄市立総合病院・士別市立病院の  
「地域連携合同カンファレンス」に保健所も参加！  
（令和4年12月～）

## 施設対応から平常時対策へ③

- 地域連携合同カンファレンス（通年・2か月毎開催）
  - ・ 名寄市立総合病院（感染対策向上加算1）、士別市立病院（感染対策向上加算2）、保健所が参加。
  - ・ 院内感染対策や地域の感染症流行状況について情報共有。

その中で…

- ・ 保健所の事業として、消防との「エボラ出血熱患者等の移送に係る協定書」に基づく訓練を紹介。
- 病院の職員研修と合同でやってみよう！



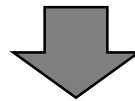
「PPE着脱訓練及び搬送訓練」を開催！  
【エボラ出血熱患者等の移送に係る協定書第12条に基づく訓練／士別市立病院・名寄市立総合病院の職員研修との合同訓練】（令和5年10月3日）

## 施設対応から平常時対策へ④

### ○ P P E 着脱訓練及び搬送訓練

- ・ 内容は行政説明、P P E 着脱訓練、搬送訓練（保健所→名寄市立総合病院）、講義、意見交換。参加者38名。
- ・ 実際にやってみたことでの学びが多くあった。  
（保健所のストレッチャーは予備救急車に合わずアイソレーターの付け替えが必要だった、シューズカバーは滑る、搬送中に手袋が破ける等々）

→ 「やっぱり訓練は大事」ということを病院・消防・保健所で共有できた！



コロナ禍でも個別の施設対応から集団、地域へと保健活動を展開し、係のみんなで経験・共有できた！

# まとめ～保健師活動指針を踏まえた保健活動の展開～

## 【保健師の保健活動の基本的な方向性】

1 地域診断に基づくPDCAサイクルの実施

② 個別課題から地域課題への視点及び活動の展開

3 予防的介入の重視

4 地区活動に立脚した活動の強化

5 地区担当制の推進

6 地域特性に応じた健康なまちづくりの

⑦ 部署横断的な保健活動の連携及び協働

8 地域のケアシステムの構築

9 各種保健医療福祉

⑩ 人材育成

施設対応から講習会、  
カンファレンス、訓練へ

“地域のために”  
ICNと一緒に活動

実際にやって見せて、やってもらって、  
一緒に振り返った



# 最後に…係員のみんなと振り返り



ちょっとした疑問やアイデアを拾い上げてもらえる環境があったので、安心して色々と発言できました！

施設対応：M保健師  
(現在4年目)  
\* 職歴10年目

コロナ禍でたくさんの住民や施設の方と関わった経験が、今家庭訪問や保健指導、関係機関との連携などに活きていると日々感じています！(K)



K保健師・N保健師  
(現在3年目)

先輩方のサポートのおかげでコロナ禍でも様々な業務を経験することができました！全ての経験が今後の活動につながっていくことを実感しています。(N)